

# ウオダス 漁海況速報 No.1473

発行日 平成 18 年 3 月 22 日 <http://www.applenet.jp/aosui/>  
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778  
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

3月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	⑬	17	18
19	20	21	②②	23	24	25
26	②7	28	29	30	31	

○イカナゴ稚仔分布密度は  
2003年度並み  
(青鵬丸によるイカナゴ稚仔分布調査)

**小泊** (3月16~20日)  
(取りまとめ中)

**下前** (3月1~20日)  
(取りまとめ中)

**鰺ヶ沢** (3月16~20日)

ヤリイカ	底建網	80隻	4,033kg
(4,180kg)	底曳網	3隻	147kg
ウスメバル	建網	10隻	6kg
マダラ	底建網	24隻	224kg
(444kg)	底曳網	3隻	221kg
サクラマス	底建網	4隻	12kg

**大戸瀬** (3月16~20日)

ヤリイカ	定置網	16隻	173kg
(9,881kg)	底建網	175隻	9,708kg
サクラマス	定置網	24隻	3,232kg
(3,396kg)	底建網	18隻	165kg
マダラ	定置網	5隻	28kg
(262 kg)	底建網	35隻	234kg
タイ	底建網	2隻	2.9kg
サケ	定置網	1隻	1.7kg

**沢辺** (3月16~20日)

ウスメバル	刺網	3隻	39kg
ヤリイカ	定置網	2隻	19kg
(1,839kg)	底建網	15隻	1,580kg
	棒受網	1隻	240kg
マダラ	定置網	2隻	40kg
(119 kg)	底建網	7隻	79kg
サクラマス	定置網	5隻	72kg

**三厩** (3月16~20日)

ウスメバル	一本釣	11隻	620kg
ヤリイカ	定置網	183隻	2,494kg
アブラツノザメ	延縄	21隻	19,514kg

**平舘** (3月11~15日)

	定置網	21隻	
ヤリイカ			495kg
	(3月16~20日)		
	定置網	24隻	
ヤリイカ			446kg

**尻労** (3月6~10日)

サクラマス	一本釣	13隻	138kg
	(3月11~15日)		(対象魚種の漁獲無し)
	(3月16~20日)		
サクラマス	一本釣	16隻	334kg
(609 kg)	定置網	2隻	275kg
ウスメバル	一本釣	7隻	50kg

**深浦** (3月11~15日)

ヤリイカ	底曳網	3隻	390kg
	(3月16~20日)		
ヤリイカ	定置網	2隻	81kg
(4,471kg)	底建網	8隻	909kg
	底曳網	6隻	3,481kg
ウスメバル	刺網	1隻	318kg
サクラマス	定置網	2隻	117kg

**佐井** (3月16~20日)  
(取りまとめ中)

**大畑** (3月11~15日)

ヤリイカ	定置網	6隻	15kg
(17kg)	底建網	2隻	1kg
サクラマス	定置網	6隻	120kg
(141kg)	底建網	1隻	1kg
	一本釣	3隻	20kg
マダラ	定置網	1隻	1kg
(15kg)	底建網	3隻	15kg
ウスメバル	定置網	1隻	0.1kg
(1kg)	底建網	1隻	0.4kg
アブラツノザメ	延縄	2隻	365kg
(371kg)	刺網	1隻	6kg

(3月16~20日)

ヤリイカ	定置網	3隻	4kg
(4kg)	底建網	1隻	0.1kg
サクラマス	定置網	6隻	88kg
(1,864kg)	一本釣	99隻	1,774kg
	刺網	1隻	2kg
マダラ	底建網	1隻	3kg
ウスメバル	定置網	2隻	18.2kg
(33kg)	籠	1隻	14.4kg
タイ	定置網	2隻	2kg

**白糠** (3月11~20日)  
(取りまとめ中)

**八戸** (3月16~20日)  
(取りまとめ中)

## 主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・3月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月~)	昨年同期比
鰺ヶ沢	4,180kg	403%	149,312kg	60%
大戸瀬	9,881kg	85%	227,673kg	89%
深浦	4,471kg	1146%	23,888kg	226%
沢辺	1,839kg	1226%	3,122kg	153%
(陸奥湾)				
平舘	446kg	90%	16,285kg	56%
(津軽海峡)				
三厩	2,494kg	169%	11,019kg	54%
大畑	4kg	25%	15,107kg	47%

○サクラマス (全漁法・3月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(12月~)	昨年同期比
鰺ヶ沢	12kg	492%	88kg	-
大戸瀬	3,396kg	614%	12,359kg	133%
深浦	117kg	-	3,346kg	73%
(津軽海峡)				
大畑	1,864kg	1322%	18,249kg	-
(太平洋)				
尻労	609kg	-	1,746kg	89%

○マダラ (全漁法・3月16~20日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(11月~)	昨年同期比
鰺ヶ沢	444kg	1221%	60,357kg	285%
大戸瀬	262kg	179%	13,409kg	127%
沢辺	119kg	-	33,898kg	104%

○ウスメバル (全漁法・3月16~20日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計(4月~)	昨年同期比
三厩	620kg	326%	13,582kg	92%

○アブラツノザメ (全漁法・3月16~20日)

(津軽海峡)	今回	前回比	漁期累計(9月~)	昨年同期比
三厩	19,514kg	202%	131,885kg	139%

### 沿岸各地の水温

日本海 7℃台  
陸奥湾 3～8℃台

(3月16日～20日)

津軽海峡 6～7℃台  
太平洋 4～7℃台

今期は昇温した地域が多く平均前回差は+0.2度でした。

昨年と比べると日本海側で+0.1度、津軽海峡で-1.0度、陸奥湾で+0.2度、太平洋側で-0.3度となっています。平均昨年差は-0.3度です。

平年と比べると日本海側、津軽海峡、太平洋側が平年並み、陸奥湾がやや低めとなり、平均昨年差は-0.5度でした。

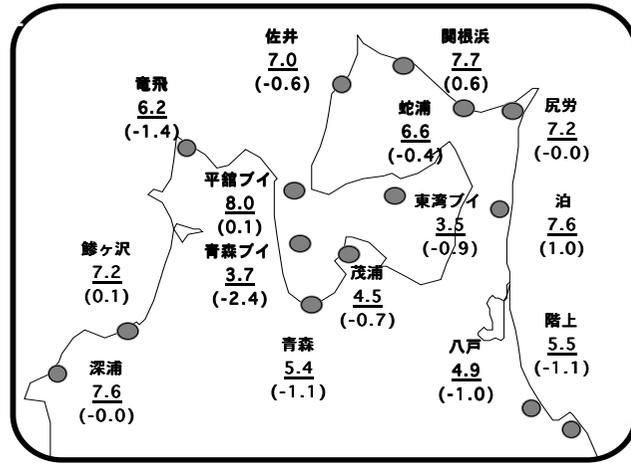


図 定地水温 (3月16～20日)  
平均値 (平年差) ブイ1m  
(青森ブイは3月16～17日の平均値)

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	7.6	-0.0	+0.3	-1.0
蛇ヶ沢	7.2	+0.1	-0.3	+1.1
竜飛	6.2	-1.4	-1.2	-0.3
佐井	7.0	-0.6	-1.3	+0.1
青森	5.4	-1.1	+1.0	-0.4
蛇浦	6.6	-0.4	-1.0	-0.3
関根浜	7.7	+0.6	-0.5	+0.5
尻尻	7.2	-0.0	-0.1	+0.5
泊	7.6	+1.0	-0.1	+1.1
八戸	4.9	-1.0	-0.2	+0.8
階上	5.5	-1.1	-0.9	+0.6
茂浦	4.5	-0.7	+0.2	+0.6
平館ブイ	8.0	+0.1	-0.7	+0.3
青森ブイ	3.7	-2.4	-0.2	-1.1
東湾ブイ	3.5	-0.9	+0.8	+0.4
平均	6.2	-0.5	-0.3	+0.2

### 太平洋の海況 (3月16～19日)

概況；沿岸水温は4～6℃台

○太平洋沿岸域の表面水温 4～6℃台で、前回と変わっていません。昨年同期と比べると1～2度低い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 5℃等温線でみると東経142度付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

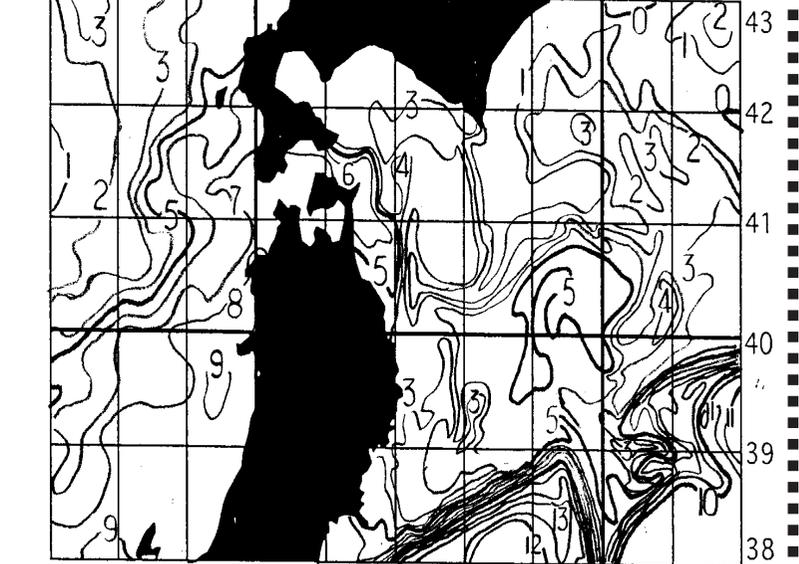
○親潮系冷水の南下 4℃等温線でみると北緯38度20分付近までで、張り出しは前回と変わっていません。常磐沖に暖水域が見られます。

### 日本海の海況 (3月16～19日)

概況；沿岸水温は7～8℃台。

○日本海沿岸域の表面水温 7～8℃台で、前回よりわずかに低くなっています。昨年同期と比べるとわずかに低い水温です。

137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147



資料：(社) 漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況速報 第99号 3月20日

### ◎イカナゴ稚仔分布調査結果

2006年3月7～10日にボンゴネット往復傾斜曳(水深0～50m)を行いました(図1)。今年の稚仔分布密度は前年よりも多く、2003年と同程度となっています(図2)。稚仔の体長は4～7mmが多く、漁獲対象(25mm以上)になるまでにはおよそ1ヶ月ほどかかります。水温は例年並みとなっています。次回の調査は4月11～13日に実施する予定です。

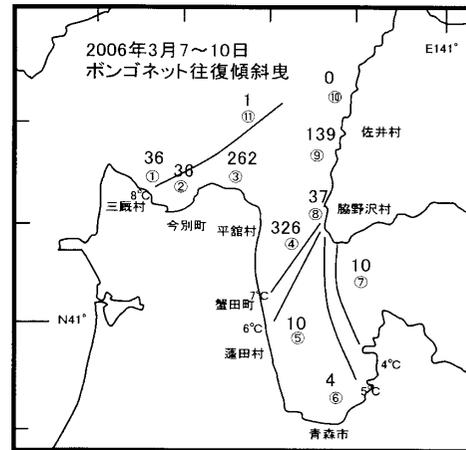


図1 ボンゴネット水深0～50m往復傾斜曳によるイカナゴ稚仔採集個体数  
(①～⑪: St.No., 数字: 採集個体数)  
(水温は水深20m層)

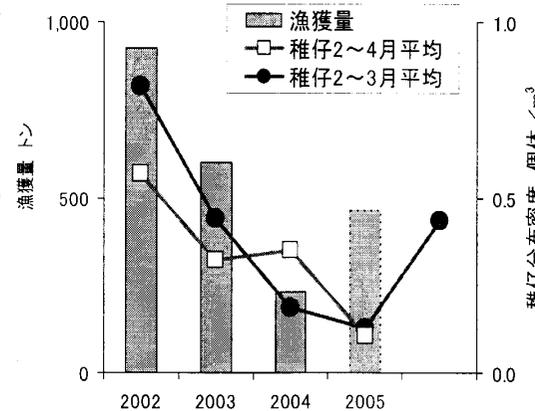


図2 イカナゴ稚仔分布密度の経年変化

### ◎平成18年夏季の東日本海区の海面水温予報について

函館海洋気象台は3月10日、標記の予報を発表しました。

「海面水温は東日本海区の全海域で平年並でしょう。親潮系冷水の南への張り出しは平年よりも強いでしょう。」

その他には、以下のように予想しています。「黒潮の北上傾向は平年並。津軽暖流の流量は平年並で、対馬暖流、宗谷暖流の流量は平年よりも少ない。」

### ◎試験船情報

●試験船青鵬丸は今週、日本海において高層魚礁調査を行いました。